2019 年度事業活動報告 特定非営利活動法人 WE21 ジャパンかながわ

【事業の成果】

リユース・リサイクル事業

WE21 かながわの一つの柱であるリユース・リサイクル事業は、20 年間の活動で地域の市民に認知されてきました。しかし、近年の温暖化による天候不順によって、衣料等の販売に影響を与えています。その様な中でも、セールやフェア、タイムセール等を行い、ショップ運営を工夫しました。新たな取り組みとして、1 月からWE21 ジャパンが行っているグリーンダウンプロジェクトに参加し、羽毛製品の回収を始めました。

民際支援事業

地球市民 ACT かながわのフェアトレード品(ミャンマー、タイ、インド)を、フェアトレードフェアとして企画したり、原発事故を風化させない、被害者の想いをドキュメンタリーにした映画作成のクラウドファンディングに参加したり、新たな試みも行いました。WE講座で「スマホの真実」を行った事で、携帯電話の回収がWE全体で 183 個の内WE21 かながわで 58 個の回収となり、売却金はBGA 事業に寄付されました。

また、各支援の担当者を決めた事で、担当者が会議に参加し、運営委員会への報告が出来ました。

広報活動

タウンニュースに数回掲載されたことで、「チョコ募金」等の募金活動が活発になりました。 また、ショップブログをスタッフが行う事により、タイムリーな広報活動が出来るようになりま した。新もったいないチラシを生活クラブに配布し、日経新聞に着物チラシを入れるなど、広報 活動に努めましたが、もう少し早い組み立てをするなどの課題もあります。

共育活動

WE 講座へ多くのボランティアと会員の参加があり、ショップで行っている活動や、フェアトレードへの理解を深めることが出来ました。

その他

コミュニティー・オプティマム福祉マネージメントユニットかながわを通して、関係他団体と の連携が深まりました。

【事業内容】

1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

『WEショップかながわ六角橋店』『WEショップかながわ大口店』をスタッフ、ボランティアの参加で運営しました。市民から寄付された品物の地域内循環をすすめ、その収益で国内外の支援事業を行ないました。

| | 【六角橋店】 | 【大口店】 |
|--------|---------------|-------------------|
| 寄付件数 | 2,358件 | 1,278件 |
| 顧客数 | 8,891名 | 6, 299 名 |
| スタッフ | 2 名 | 2名(4月~10月、1月) |
| | | 3名(11月、12月、2月、3月) |
| ボランティア | 31 名 | 13 名 |
| 事業高 | 7, 577, 662 円 | 4, 958, 877 円 |
| 1日平均売上 | 29, 298 円 | 21, 395 円 |

1) 各ショップの活動

- (1) 売上目標達成のためセールなどを企画し、実施しました。
- (2) 各ショップできものフェアを開催しました。
- (3) 1月からグリーンダウンプロジェクトに参加し、羽毛製品の回収を行いました。

【六角橋店】

- ・5月より、定休日を第1・第3木曜日に変更し、毎週土曜日に営業することで寄付品を持ってくださる方が増えました。
- ・7月に20周年を迎えました。WE21かながわの企画として、大口店と共に20周年記念セールをし、多くのお客さまを迎え賑わいました。
- ・9月に、星槎学院のインターシップの受け入れを行いました。
- ・検討課題だった就労支援を10月から行うことになり、1名の女性を受け入れました。
- ・1月に六角橋中学校の生徒2名の職業体験を受け入れました。
- ・「きものフェア」を2月に1週間開催し、毎日来店されるお客さまもいて、賑わいました。着物フェアチームをスタッフ、ボランティアの有志で形成し、企画、準備、実行を行いました。また、準備から片付けまで多くのショップボランティアとリメイクボランティアの協力を得て、とても達成感のあるフェアとなりました。
- ・リメイクチームの拠点として、講習会を行いました。
- ・店頭にて廃食油回収のWE油田を、店内では不要携帯電話の回収を継続しています。

【大口店】

- ・4月に平成さよならセールを2日間行いお客様に喜んでいただきました。
- •7 月にWE21 ジャパンかながわ 20 周年記念行事を迎え、周年セールをしましたが集客数の減少に時代を考えさせられました。
- ・スタッフ,ボランティアの増員を目指し活気あるショップ運営を務めました。
- ・8月(24・25日)土・日曜日に商店街夜店に参加して活動を広げました。
- ・きものフェアを11月に開催しました。
- ・値下げ品に印を付け、売上向上に工夫しました。(ジーンズ、季節の衣類、雑貨等)
- ・1月に神奈川中学校2年生生徒2名の職業体験を受け入れました。
- ・店頭にて廃食油回収のWE油田に取り組みました。
- 2) ネット活用の検討は出来ませんでした。
- 3) 資源の有効活用に取り組み、ファイバーや見切り品を活用しました。 活動の拠点を六角橋店におき、定例会や各講習会を開催しました。
 - (1) リメイクチーム (リライフ工房 布) 毎月1回定例会を開催しリメイクチーム活動の報告、予定などを共有し、講座の企画・ 準備を計画的に行いました。
 - (2) リメイク講習を毎月1回(第3金曜日)に、布ぞうり講習を毎月1回(第4火曜日)に企画実施しましたが参加者が少なく、なかなか思うような実績にならなかったがリピーターができました。出前講習はありませんでした。
 - (3) WE21 ジャパン・グループ (以下WE21 グループ) で作るリメイク連絡会に参加し、情報を共有しました。また WE フェスタに参加し美大との共同で手作りをしました。
 - (4) WEフェスタ 2019 に、WE21 かながわのリメイクチームとして今年も参加し、リメイク品の販売をしました。 (リメイク品売上 18 点 30,400 円)
 - (5) リメイクメンバーの減少で広範囲な活動がなかなかできませんが、ショップやみんな DE まつり、WE フェスタでのリメイク品の販売と、着物を洗濯し解いたものを販売しました。 (*リメイク品等総売上 113 点 232,460円)
- 4) リサイクル(回収)の取組み
 - (1) 不要携帯電話の回収ボックスを六角橋店に常設し、携帯や小型家電製品に使用されている鉱物資源の回収を行い、資源の循環に取組みました。この金属の売却金はBGAに寄付されます。 (WE21 ジャパン回収 183 台:かながわ回収 58 台)
 - (2) 六角橋店、大口店は「WE油田」の回収ステーションとして家庭廃食油の回収を行いました。廃食油はバイオディーゼル燃料、肥料、石けん、キャンドルなどにリサイクルされ、今では発電も行い電力供給にもつながっています。

- (3) 1 月から新たな取り組みとして、グリーンダウンプロジェクトに参加し、羽毛製品の回収を行いました。
- 5) WE21 ジャパン、WE21 グループ等が開催する研修、イベント情報等に参加しました。
 - (1) WE21 ジャパンが主催する基礎研修に新スタッフが参加しました。
 - (2)「WEフェスタ 2019」にスタッフ、ボランティアが参加しました。
 - (3) JCSN(日本チャリティショップネットワーク)が主催するチャリティショップ フォーラムに参加。
 - (4) WE21 ジャパンが企画した次世代交流カフェに参加し、意見交換をしました。
- 6) かながわ2ショップ間で寄付品のトレード、広報等で連携しました。 また、2ショップ間でスタッフの相互研修を行いました。
- 7) 大口店は11月、2月に新スタッフが入り、六角橋店ではボランティアも増員できました。 ボランティアの企画参加、情報や知識の多くが共有出来ました。
- 8) 『WEショップかながわ六角橋店』『WEショップかながわ大口店』に寄付されたリサイクル品の中で、見切り品やファイバーはエコものセンター(神奈川県綾瀬市小園 822-1)に移送後、WE21 ジャパンと契約関係にある故繊維業者(株)ナカノ(ファイバー)、(有)飯室商店(ガラス器)、木村管工(株)(陶磁器)と連携し、最後までリサイクルに責任をもちました。
- 9) ショップ連絡会 (With) の定例会 (月1回) にショップスタッフが参加し、他地域のショップスタッフ間で情報を交換、共有し、スタッフ相互の連携を図りショップ運営に役立てました。

『WEショップかながわ六角橋店』

【日時】通年(日曜・祭日・第1・第3木曜日は除く)

【場所】横浜市神奈川区西神奈川 3-16-1

【従事者】ショップスタッフ 2人、運営委員 11人、ボランティア 31人

【受益対象者】一般市民

【支出額】6,643,458円

『WEショップかながわ大口店』

【日時】通年(日曜・祭日・木曜日は除く)

【場所】横浜市神奈川区大口通 7-3

【従事者】ショップスタッフ3人、運営委員11人、ボランティア13人

【受益対象者】一般市民

【支出額】4,417,059円

- 2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と 自立のための活動を支援する事業
- 1) アジア地域の人々の生活向上と自立のための支援をしました。東日本大震災(2011.3.11.) 支援は福島第一原発事故による放射能から身を守る活動へ寄付しました。今年度も気候変動による豪雨被害が多発し、福島災害地の子供たちの遊び場支援に緊急災害募金を送りました。

2019 年度海外·国内支援助成金 総額 671,103 円

≪助成金・寄付金 456,644 円 募金 214,459 円≫

*海外支援助成費 477,126 円

≪助成金・寄付金 326,644 円 募金 150,482 円≫

| 支援国 | | プロジェクト名 | 金額 |
|----------------------------------|-------|---|------------|
| シュントック | フィリピン | ルボ村鉱山開発跡地の 環境回復のための植林と環境活動 | 100,000円 |
| 草原の子ども | モンゴル | 「母子家庭の自立および孤児の 子どもたちの支援プロジェクト」 | 180,000円 |
| 幼い難民を考える会 (CYR) | カンボジア | 保育事業 | 46,644 円 |
| | | 給食おやつ募金 | 5, 575 円 |
| 日本イラク医療支援 ネットワーク(JIM-NET) | イラク | <チョコ募金> イラク医療支援・シリアの難民・ 福島の子どもたちと支援 | 114, 506 円 |
| 日本国際ボランティア センター (JVC) アフガニスタン | | <オレンジ貯金箱募金> ピースアクション&識字アクション | 30, 401 円 |

*東日本復興助成費 178,427 円

≪寄付金 130,000 円 募金 48,427 円≫

| 《刊1並 100,000十1 | | | | | | |
|---------------------|--------------|--------------|-----------------------------|--|--|--|
| 支援先 | 県名 | プロジェクト名 | 金額 | | | |
| ネパリ・バザーロ | 沖縄・福島 | 沖縄カカオプロジェクト | 30,000円 | | | |
| 東日本復興支援まつり 実行委員会 | 岩手・宮城 ・福島 | 協賛金 | 5,000円 | | | |
| 板倉真琴監督 | 福島 | ドキュメンタリー映画製作 | 10,000円 | | | |
| いわき放射能市民測定室 たらちね | 福島 | たらちね検診センター | 85,000円 (個人寄付 12,000円含む) | | | |
| | | 店頭募金 | 48. 427 円 | | | |

*緊急支援助成費 15,550 円

≪募金 15,550 円≫

| 支援先 | 県名 | プロジェクト名 | 金額 |
|----------|----|---------------------------------|-----------|
| キャンディきっず | 福島 | 「台風 15 号・19 号豪雨被害」 災害後の子ども支援 | 15, 550 円 |

- 2) 支援先視察に参加しませんでした。
- 3) モンゴル支援連絡会、コーヒーの森づくり事業支援連絡会、BGA、アフガニスタン支援連絡会、ジンジャーティミーティング等に参加しWE21 ジャパン、WE21 グループ、地域 NPO との連携を図りました。
- 4) フェアトレード品の取り組みを通して、フェアトレードへの理解を深め、現地の人々の生活 向上支援に協力しました。 (*フェアトレード品取組み総額 355,681円)
 - (1) ネパールの紅茶、カレーを取り組みました。六角橋店では、フェアトレードの企画に合わせて、クッキーを仕入れ販売しました。

(紅茶・カレースパイス・クッキー 198点 76,487円)

- (2) WE21 ジャパンが輸入元となっているフィリピンのジンジャーティに取り組みました。その収益は住民組織の基金と個人の収入、鍼灸の鍼代等に当てられています。 (ジンジャーティ 155 本 108,500 円)
- (3) モンゴルの無職のシングルマザーの自立支援、生活向上支援として、手作りフェルトス

リッパをWE21 ちがさきと共に取り組みました。取り組みに際し細かい打ち合わせを し、より良い製品となり、新色も増えました。

(モンゴルスリッパ 35 足 60,000 円)

(4) パレスチナの伝統技術によって作られたオリーブ石けんをフェアトレードする事で、 そこに携わっている女性たちの生活支援をしています。

(アシーラ石けん 40個 19,958円)

- (5) フィリピン、コーディリエラ地方のアグロフォレストリーによるコーヒー栽培を支援しています。コーディリエラで収穫された豆を焙煎し、販売しているシサム工房のコーヒーを販売しました。 (シサムコーヒー 78 袋 63,856 円)
- (6) 新たなフェアトレードとして、横浜ACTのタイ、ミャンマーの手作りポーチ・バッグ・アクセサリー商品を取り組ました。 (民族雑貨 39点 26,880円)
- 5) キャンペーン等に取組み、支援先の現状を伝えました。
 - (1) 貧困なくそうキャンペーンに取組み、10月17日の売り上げ(衣料、雑貨)及び10月1日から17日までの店頭募金を幼い難民を考える会(CYR)に寄付をし、カンボジアの貧困の現状について理解を深めました。
 - ■寄付 52,119 円 (寄付金 46,644 円 店頭募金 5,575 円)
 - (2) 日本イラク医療支援ネットワーク (JIM-NET) 主催の「チョコ募金」キャンペーンに取組み、チョコレート缶 200 個を 550 円寄付して下さった方にプレゼント。絵柄の付いたチョコ缶をとおし、小児がんの子どもたちの事を伝えました。

■寄付 114,506円 (チョコ募金 114,506円)

- (3) 「3.11をわすれない」に取組み、11日の各ショップの売上をいわき放射能市民測定室の活動、運営に寄付しました。お客様と福島の現状を考える一日となりました。
 - ■寄付 66,799 円 (寄付金 56,095 円 店頭募金 10,704 円)
- 6) アジア・友だち・みらい貯金箱を主に会員へ配布。回収した募金を支援連絡会でまとめ、J VCアフガニスタン事業の識字&ピースアクションPJに寄付しました。貯金箱を回収する工夫が課題となりました。

■WE21 かながわ募金 30,401 円 : 回収数 14 箱 ■支援連絡会募金合計 224,143 円 : (10 地域 NPO)

7) 新たな支援方法として、ネパリ・バザーロの「チョコづくり未来づくり」に、3 口(3 万円)参加し、プロジェクトの目的である、「沖縄の新たな産業づくり、障害者や一般就労の困難な方への仕事づくり、福島原発事故による放射能汚染地域に住む子供たちの保養支援」に参加しました。また、復興支援まつりに、協賛金(5,000円)を支出しました。原発事故を風化させない、被害者の想いをドキュメンタリー映画として作成するクラウドファンディングへ参加しました。(1 万円)

【日時】通年

【場所】横浜市神奈川区

【従事者】運営委員 11 名、スタッフ 5 人、 ボランティア 44 人

【受益対象者】福島の市民、アジア、アフリカ等の市民(モンゴル、フィリピン、カンボジア、アフガニスタン、イラク、シリア、パレスチナ、ネパール)

【支出額】1,128,249円

3、地域の市民の国際的な意義の自覚を促進する事業

支援活動を推進するため、アジア地域の人々(特に女性)の自立支援に携わっている人や現地で活動している人を招いて「WE講座(報告会、学習会)」を開催しました。

- (1) WE講座「ネパールの現状とフェアトレードの果たす役割」 5月20日 講師 髙橋 百合香さん(ネパリ・バザーロ代表) 参加者 19名
- (2) WE講座「スマホの真実」 10月3日 講師 小池 絢子さん(WE21ジャパン民際担当) 参加者 18名
- (3) WE講座:支援先報告会 モンゴル「草原の子ども」報告 ~母子家庭のお母さんたちは?~ 2月1日 報告者 ウルジさん (NGO 草原の子ども 理事) 参加者 23名

【日時】通年

【場所】横浜市神奈川区

【従事者】運営委員11名、スタッフ5人、 ボランティア44人

【受益対象者】一般市民

【支出額】12,538円

4. この法人の事業の広報普及を図る事業

WE21 かながわの活動を広めるために、次のとおり情報の受発信をしました。

- 1)「WE21 ジャパンかながわニュース」は年2回発行し、発行枚数は2,600枚です。
- 2) チラシの作成、ホームページ等への掲載
 - (1) セール、寄付品募集などのチラシを作製し、配布、掲示しました。 ■総合計 18,275 枚
 - (2) WE講座、講習会等の開催ポスターを作製、掲示し広く参加を募りました。
 - (3) かながわのホームページのショップブログをタイムリーに更新できました。
- 3) 支援先のパネルやポスター、チラシ、リーフレットなどを使い、ショップ内の広報に活用 しました。
- 4) 会員に対し、「WE21 ジャパンかながわだより」を発行しましたが、発行回数が少なくタイムリーな情報発信には至りませんでした。
- 5) タウンニュースに広告を載せ、広く地域に周知し、取材を通じて沢山の記事が掲載(*)されました。

【日時】通年

【場所】横浜市神奈川区

【従事者】スタッフ5人、運営委員11名、ボランティア44人

【受益対象者】一般市民

【支出額】44,517円

5. その他、第3条の目的達成に必要な事業

- 1) 平和な社会の構築に向けての活動
 - (1) 介護保険制度の改定に対する要望書の署名活動を行いました。
- 2) 多文化共生の地域づくりを広めるため、「神奈川区に多文化共生をすすめる会」に参加し、活動しました。
 - (1) ラウンジ機能を持つ拠点創りにつなげるために、「国際情報・相談コーナー」区役所と「国際交流・情報サロン」反町駅前にて活動しました。
- 3) 他団体及び地域との連携
 - (1) コミュニティオプティマム福祉マネージメント・ユニットかながわ(以下ユニットかながわ)に参加し、神奈川区内の生活クラブ運動グループとの連携を図りました。

- (2) 神奈川区 区民活動支援センター主催の活動に参加しました。
- (3) フードバンクのシステムを学習し、検討することはできませんでした。
- (4) 横浜市神奈川区社会福祉協議会に登録し、ボランティア保険加入、会議室利用と活用しました。

【日時】通年

【場所】横浜市神奈川区

【従事者】運営委員11名、スタッフ5人、 ボランティア44人

【受益対象者】一般市民

【支出額】36,723円

6. 組織活動

1)会員は目標50名を達成できました。

2) 運営委員会

- (1) 今年度も事業活動の執行に対し、責任を持って活動しました。
- (2) ショップスタッフとともに、ショップ間の連携を図り業務運営の充実を図りました。
- (3) 運営委員会を毎月1回以上開催しました。
- (4) 議長を運営委員が担いました。

3)事務局

- (1) 事務局作業をはじめ、打合せやスタッフの作業に事務所が活用されました。
- (2) 資料の整理を進めています。
- (3) 横浜市市民局主催の「おさえておきたい!!NPO 法人会計基準」講座 参加者 2 名
- 4) ショップスタッフミーティング
 - (1) 毎月1回開催し、各ショップの課題解決に取組み、運営委員会への提案などショップ の連携を図りました。
 - (2) 運営委員会へ提案し、運営委員会で決定したことを実現しました。
 - (3) WE21 グループにおける物流ルールを共有しました。
- 5) リメイクチーム (リライフ工房 布)

毎月1回定例会を開催しリメイクチーム活動の報告、予定などを共有し、講座の企画・準備を計画的に行いました。

6) かながわ支援チーム

支援先担当者が積極的に支援先報告会、連絡会に参加し、運営委員会への報告を行うと共 に、支援先との窓口になりました。WE講座の企画も行いました。

7) ボランティアミーティング

活動の理解を深め、ショップ運営を円滑に行うため開催しました。運営委員会での方針を ボランティアと共有しました。

- 8) WE21 ジャパン、WE21 グループとの連携
- 10)10月より、就労支援として女性1名を受け入れ、継続しました。
- 11)20周年企画

10月23日、24日に福島を訪問し、支援先である「いわき放射能市民測定室たらちね」と福島第一原発を見学。神奈川公会堂会議室にて、記念式典開催。

【日時】通年

【場所】横浜市神奈川区

【従事者】運営委員 11 名、スタッフ 5 人、 ボランティア 44 人

【受益対象者】一般市民

【支出額】723,298円